

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

IDS

高速移動シーンに最適なuEye Warp10発売

IDS産業用カメラ史上最速の高速モデル登場 高速移動撮影も細部まで繊細に余さず撮影 10GigE搭載、データを遅延せず高速転送

10GigEに対応し 高速データ転送

アイ・ディー・エス(IDS Imaging Development Systems GmbH。以下=IDS)は、同社産業用カメラシリーズ史上最速の高速対応モデル「uEye Warp10」を発売した。

高速移動シーンを細部まで余さず撮影する場合、適切なセンサーに加え、高性能転送インターフェースが不可欠となる。

uEye Warp10は10GigEに対応し、ギガビットイーサネットベースのネットワークにおいてきわめて高いフレームレートで、データを高速転送する。

Sony Pregius センサー搭載

新たに発売したuEye Warp10は、Sony PregiusシリーズのIMX250(5MP)、IMX253(12MP)、IMX255(8.9MP)センサーを搭載した最初のモデル。1GigEカメラに比べ、uEye Warp10モデルの転送帯域幅は最大10倍に達し、USB 3.0インターフェース搭載カメラの約2倍を実現する。

uEye Warp10 最適用途分野

uEye Warp10は、シーンをあらゆる

細部にわたってモーションブラーを起こさずに撮影、モニター、分析する、モーションブラー検査タスクなどで強みを発揮する。

製品ラインにおける高クロックレートでの点検用途や、スポーツ解析での画像処理システム用途など、高速データ転送に活用できる。

GigE Vision規格準拠の産業用カメラは、ケーブル長最大100mで高速データ伝送が可能なほか、RJ45コネクタを使用して標準CAT6Aケーブル(40m未満はCAT5Eも可)経由でリピーターや光学エクステンダーは不要。

そのうえ丈夫なuEye Warp10カメラは、Cマウントレンズホルダー付きで提供する。

追加モデルも計画 ラインナップ拡充

同社はすでに追加モデルも開発中で、今後、TFLマウント(M35×0.75)付きバージョンの発売も予定しており、45MPの高解像度センサーに使用する。カメラは強力なIDS peakソフトウェア開発キットでサポートしていく。

新製品の詳細は、同社のIDS Vision Channelにおいて、新しいカメラファミリーの機能や可能な用途を専任エキスパートが詳しく解説している。

ビデオは、IDS Webサイトの無料ユーザーアカウントがあれば、無料で視聴できる。詳しい情報は下記を参照。

■IDS会社概要

IDS Imaging Development Systems GmbHは、産業用カメラおよび産業用画像処理のパイオニアとして世界市場で高いシェアを堅持する。個人経営企業のIDSは、強力な汎用USB、GigE、3Dカメラのモジュール式概念と、人工知能(AI)搭載モデルを開発。カメラの用途は無限で、産業セクターから非産業セクターまで、装置、プラント、機械工学で活躍している。AI 画像処理プラットフォーム IDS NXTは汎用性に優れ、従来のルールベースの画像処理では限界に達してしまう、新たな用途分野の可能性を実現する。

同社は1997年に社員2名で創立以来、今日では350名の従業員を擁する独立したISOおよび環境認定ファミリー企業へ躍進。ドイツ・オーバーズルムに本社を構え、開発、生産を行っている。米国、日本、韓国、英国、フランス、オランダに子会社および支店を開設してグローバルな事業を展開している。(※資料提供：アイ・ディー・エス)



■製品の詳細は→ <https://jp.ids-imaging.com/ueye-warp10.html>
■アイ・ディー・エス株式会社 URL→ <https://jp.ids-imaging.com/>